

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公表番号】特表2003-529360(P2003-529360A)

【公表日】平成15年10月7日(2003.10.7)

【出願番号】特願2001-572589(P2001-572589)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 14/47

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月31日(2008.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 配列番号 1 に示すアミノ酸配列からなるNFIF - 14bポリペプチド、または配列番号 2 に示すアミノ酸配列からなるNFIF - 7aポリペプチドをコードする核酸。

【請求項 2】 核酸はcDNAである請求項 1 に記載の核酸。

【請求項 3】 NF Bを誘導し、配列番号 1 に示すアミノ酸配列からなる単離精製NFIF - 14bポリペプチド、またはNF Bを誘導し、配列番号 2 に示すアミノ酸配列からなる単

離精製NFIF - 7aポリペプチド。

【請求項 4】 NF Bを誘導する組成物を含むNF Bの発現を増加させるための医薬組成物。

【請求項 5】 組成物は請求項 1 に記載の核酸からなる発現ベクターを含有する請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】 レトロウイルスベクター、アデノウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクター、ヘルペスウイルスベクター、および裸DNAベクターからなる群より選ばれる請求項 1 に記載の核酸からなる発現ベクター。

【請求項 7】 組成物は請求項 3 に記載のポリペプチドおよび製薬上許容される担体を含有する請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】 アンチセンス核酸を含有する、NFIF遺伝子の発現を低下させる医薬組成物。

【請求項 9】 NFIFポリペプチドに結合しその活性を低下させる中和抗体を含有する、NFIFポリペプチドの活性を低下させる医薬組成物。

【請求項 10】 NFIFポリペプチドをコードするRNAを切断するリボザイムを含有する、NFIFの発現を低下させる医薬組成物。

【請求項 11】 試験化合物がNF B - 調節レポーター遺伝子の発現に基づくNFIF - 14bまたはNFIF - 7aの活性の阻害に有効か否かを評価する方法において、

(A) (1) NFIF - 14bまたはNFIF - 7a；(2) 上記NF B - 調節レポーター遺伝子；および(3) 上記試験化合物からなる第一のサンプル中におけるNF B - 調節遺伝子の発現レベルを(4) NFIF - 14bまたはNFIF - 7a；および(5) 上記NF B - 調節レポーター遺伝子からなる第二のサンプルにおける遺伝子発現レベルと比較し、ついで、

(B) 上記レポーター遺伝子の発現が上記第二のサンプルに比較して上記第一のサンプル中における方が低いかなを確認することからなる方法。

【請求項 12】 試験化合物がNF B - 調節レポーター遺伝子の発現に基づくNFIF - 14bまたはNFIF - 7aの活性を増強できるかなを同定する方法において、

(A) (1) NFIF - 14bまたはNFIF - 7a；(2) 上記NF B - 調節レポーター遺伝子；および(3) 上記試験化合物からなる第一のサンプル中におけるNF B - 調節遺伝子の発現レベルを(4) NFIF - 14bまたはNFIF - 7a；および(5) 上記NF B - 調節レポーター遺伝子からなる第二のサンプルにおける遺伝子発現レベルと比較し、ついで、

(B) 上記レポーター遺伝子の発現が上記第二のサンプルに比較して上記第一のサンプル中における方が高いかなを確認することからなる方法。

【請求項 13】 NFIF - 14bまたはNFIF - 7aの活性を阻害する組成物を含む、NF B依存性遺伝子の発現阻害剤。

【請求項 14】 NFIF - 14bまたはNFIF - 7aの活性を阻害する組成物を含む、炎症阻害剤。

【請求項 15】 アミノ酸配列（配列番号 1 または 2）からなる単離NFIFポリペプチドの、NF B調節炎症応答の処置および／または予防を目的とする医薬の製造のための使用。

【請求項 16】 アミノ酸配列（配列番号 1 または 2）からなるNFIFポリペプチドをコードする核酸の、NF B調節炎症応答の処置および／または予防を目的とする医薬の製造のための使用。

【請求項 17】 アミノ酸配列（配列番号 1 または 2）からなるNFIFポリペプチドをコードする核酸からなる組換えベクターの、NF B調節炎症応答の処置および／または予防を目的とする医薬の製造のための使用。

【請求項 18】 アミノ酸配列（配列番号 1 または 2）からなるNFIFポリペプチドをコードする核酸からなる欠損組換えウイルスベクターの、NF B調節炎症応答の処置および／または予防を目的とする医薬の製造のための使用。